

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名： 悪性消化管閉塞に対する緩和手術の有用性についての後方視的観察研究
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年4月1日から2023年3月31日の期間において、昭和大学江東豊洲病院消化器センター(以下当センター)にて、悪性消化管閉塞に対する緩和手術を受けた患者さん。
2. 研究目的・方法 悪性消化管閉塞に対する緩和手術の術式は様々であり、定型化された術式はありません。また、手術をするか否かの基準に関しても議論が続いているため、それぞれの施設で手術の可否や術式を判断して行っているのが現状です。 そこで、当センターにて悪性消化管閉塞に対する手術を受けた方の電子カルテ内の記録をデータ化・解析し、悪性消化管閉塞に対する緩和手術の有用性を明らかにすることを目的に、本研究を立案しました。本研究成果は、今後の医療の進展・研究促進の一助になることが見込まれます。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2023年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(年齢、性別、身長、体重、等の患者属性に関する情報) 病名情報(病名、診断日、等の病名に関する情報) 処方情報(薬品名、用量、処方日、等の処方に関する情報) 手術情報(手術記録、術中所見、等の手術に関する情報) 経過情報(術前後の経口摂取状況、腹痛や腹部膨満、嘔気・嘔吐などの腹部症状、消化管チューブの留置状況、術後・退院後の経過、術前における予測、等の経過に関する情報) 処置情報(処置名、処置実施日、材料、薬剤、等の処置に関する情報) 検査情報(検査実施日、検査項目、検査結果、血液検査、細菌検査、感染症検査、他院検査情報、病理検査、等の検査に関する情報) 画像情報(レントゲン、CT、MRI、超音波検査、内視鏡検査等：画像検査実施日、検査項目、検査所見、等の画像検査に関する情報)等

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究実施施設：昭和大学江東豊洲病院

研究責任者：小城原 傑

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター

氏名：小城原 傑

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000